

居宅サービス計画書（1）

課題分析

※以上の利用者及び家族の意向を踏まえ、健康観察や皮膚状態の観察と処置を通じて疾患の悪化を防止する必要がある。腰椎圧迫骨折に伴う疼痛の緩和と骨癒合の促進、安全な移動支援のための環境整備、生活動作全般にわたる支援の必要性がある。清潔保持と社会的刺激の提供、集団活動を通じた生活意欲の維持、転倒リスク軽減のための福祉用具導入も求められる。

総合的な援助の方針

訪問看護の利用により、医療機関との連携のもと、健康状態の観察、緊急時の対応ならびに医療処置を実施し、安心・安定した生活の継続を支援します。定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用により、清掃・食事・排泄・リネン交換など日常生活全般にわたる支援を提供し、ご本人の尊厳を尊重しつつ、快適な生活の維持を図ります。通所介護の利用により、集団活動やレクリエーションへの参加により生活リズムの獲得を図るとともに、生きがいや日常の楽しみを感じられるよう支援します。機能訓練を受けることにより筋力の向上を目指します。入浴や口腔内の観察・ケアを通じて清潔の保持に努めます。福祉用具の活用により、移乗・移動などの日常動作の安全を確保し、転倒予防や自立支援を目的とした支援をおこないます。腰椎圧迫骨折のため、コルセットを常時装着しており、疼痛管理や体位変換、移乗・移動時の安全確保を含めた慎重な支援をおこないます。